

平成28年度廃棄物系バイオマス利活用導入促進のための説明会(東北地区)

2016-9-20

環境省

廃棄物資源循環学会

〔趣旨〕 廃棄物系バイオマスの利活用は、循環型社会の形成だけでなく、温室効果ガスの排出削減により地球温暖化対策にも資することから、地域の特性に応じた適切な再生利用等を推進することが必要である。環境省では、その推進を図るべく、市町村等によるバイオガス化システムの普及加速化に向けた取組等を進めているところである。このたび、市町村等の担当者等を対象にして、環境省による取組や市町村等の事例の紹介等を通じて、バイオガス化システムに係る普及啓発を図るための説明会を開催する。廃棄物系バイオマスの利活用を検討中の市町村等の担当者をはじめ廃棄物処理に関わる関係者はぜひご来場いただき、活発なご議論からより良いシステムの構築を図りたい。

〔主催〕 環境省、廃棄物資源循環学会

〔日時〕 2016年10月21日(金) 13:00～17:40 (受付は12:30より開始)

〔会場〕 東北大学大学院環境科学研究科本館2階 大講義室

(〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1)

地図: <http://www.kankyo.tohoku.ac.jp/access.html>

〔交通〕 地下鉄東西線「青葉山駅」下車

〔定員〕 100名(事前申込み制)、自治体関係者を優先

〔会費〕 無料

〔参加申込み〕 学会ホームページ (<http://jsmcwm.or.jp/>) から申込みください

〔プログラム〕

- | | | |
|-------------|---------------------------------------|------------------------------|
| 13:00～13:10 | 開会の挨拶 | 廃棄物資源循環学会 副会長 吉岡敏明 (東北大学) |
| 第1部 | | 座長 吉岡敏明 (東北大学) |
| 13:10～13:30 | 環境省における廃棄物系バイオマス利活用の方向性について | 平松寛章 (環境省廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課) |
| 13:30～13:50 | 廃棄物系バイオマス利活用導入マニュアルについて | 伊藤恵治 ((一財) 日本環境衛生センター) |
| 13:50～14:10 | メタンガス化施設整備マニュアル改定案について | 友田啓二郎 (㈱東和テクノロジー) |
| 第2部 | 事例紹介 (プラント運転中) | 座長 小林陽一 (㈱エックス都市研究所東北事務所) |
| 14:10～14:30 | 「家畜排泄物」と「食品残渣」を処理して得られるメタンガスを利用した発電事業 | 武田久男 (㈱バイオマスパワーしずくいし) |
| 14:30～14:50 | (仮) 南三陸町バイオマスガスプラントの運転 | 瀧瀬歩 (㈱アミタ持続可能経済研究所) |
| 14:50～15:10 | 一般廃棄物 (生ごみ・紙ごみ) によるメタン発酵及び発電 | 高岡好和 (南但広域行政事務組合) |
| 15:10～15:20 | 休憩 | |
| 第3部 | 事例紹介 (プラント計画又は建設中) | 座長 中村一夫 ((公財) 京都高度技術研究所) |
| 15:20～15:40 | 仙台市の取組み状況と今後の課題 | 高柳徹 (仙台市環境局) |
| 15:40～16:00 | 京都市の取組み | 元部弥 (京都市環境政策局) |
| 第4部 | 今後の展望 | |
| 16:00～16:20 | 廃棄物系バイオマス利活用の現状と今後の展開に向けた課題 | 中村一夫 ((公財) 京都高度技術研究所) |
| 16:20～17:30 | パネルディスカッション | |
| | コーディネーター: 中村一夫 ((公財) 京都高度技術研究所) | パネラー: 上記講演者 |
| 17:30～17:40 | 閉会の挨拶 | 平松寛章 (環境省廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課) |
| 17:50～19:30 | 意見交換会 | |